

# 将来にわたって住み慣れた地域で暮らし続けていくために

## ～「小さな拠点」づくり～

### 1 地域づくりの取組

中山間地域では人口減少等による過疎化の進行により、次のような地域で暮らし続けるにあたって不便を感じることや困りが増えています。

- 集落や地域等から商店がなくなった
- 運転免許の自主返納により移動が不便になった
- 集落総出で行っていた水路等の維持管理が難しくなった
- 耕作放棄地が増えイノシシ等による農作物の被害が増加した

このような状況の中、地域に住んでおられる方々それぞれが感じている困りごとを話し合いによって共有し、地域住民が自ら主体となって、住み慣れた地域で暮らし続けていくために必要なことを考えて解決していく地域づくりの取組の一つとして「小さな拠点」があります。



中山間地域では人口減少等による過疎化の進行により、次のような地域で暮らし続けるにあたって不便を感じることや困りが増えています。

① 日南町多里地区

地域課題を意識しつつも将来への展開が見出せないという地域住民の声をきっかけに、平成28年7月から地域づくりのためのワークショップを開催して、「今のまま続けていきたいこと」、「困っていること」、「試したいこと」等、思い思いに意見を出し合うことから始め、他人事ではなく自分たちが具体的に取組む内容をまとめました。

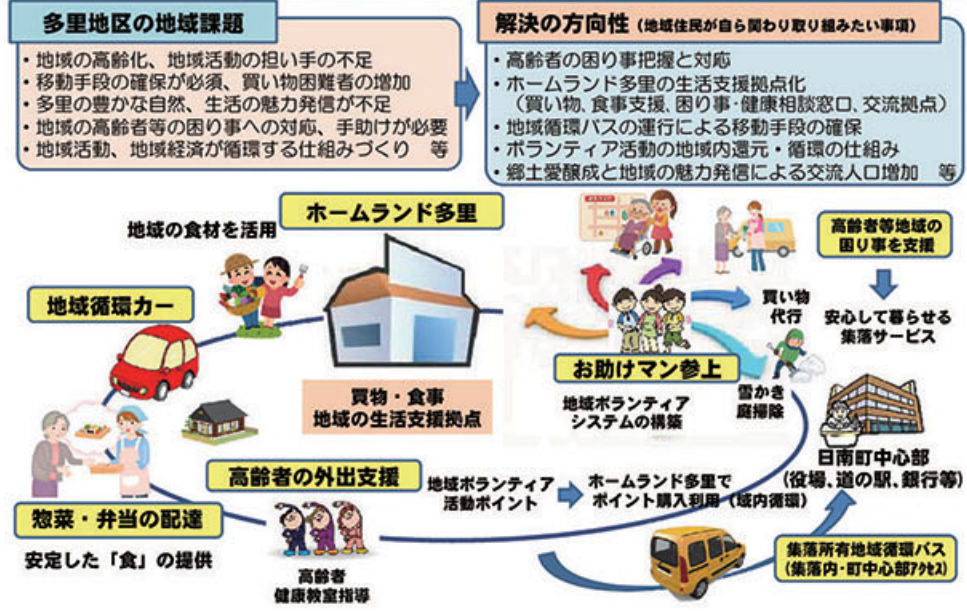
多里地区では日本財団鳥取助成プログラムによる支援を受けて、地域の生活拠点施設でもある「ホームランド多里」を改修して、買い物支援や配食機能等を拡充するとともに、地域循環カーの運行により高齢者等の外出支援を行い地域コミュニティへの参加促進を図る取組や雪かき、庭掃除、布団干しなど高齢者等の困りごとを地域ボランティアが支える仕組みづくりなどを進めています。

### 2 日野郡内での取組事例

住み慣れた地域で生活していくために、郡内でも地域のみなさんで将来を考えながら次のような取組を進めています。

## 住民共助による地域交通と食の確保

### ～日南町多里地区 中山間地域の生活支援モデル～



日南町多里地区 取組イメージ

### 3 住み慣れた地域で暮らし続けるために

#### 住み慣れた地域で暮らし続けるために

これらの取組を進めるきっかけは、「食料品店が地域からなくなった」というような、これまで集落に当たり前のようであった生活サービスがなくなってきた時などですが、まずは自分たちが住んでいる地域がどのような状況であるかの「気づき」が重要です。10年後、20年後に抱える問題を地域のみなさんで考え共有することも必要でしょう。

全国の過疎地域でも、住民同士が話し合っ て自らスーパーの運営に乗り出したり、住民同士の交流を盛んにするために、地元で作られた農産物などを使った料理を提供するカフェを住民自らオープンするなど、様々な活動が生まれてきています。みなさんも、この日野郡で地域の暮らしを守るために、小さな拠点づくりについて考えてみませんか。

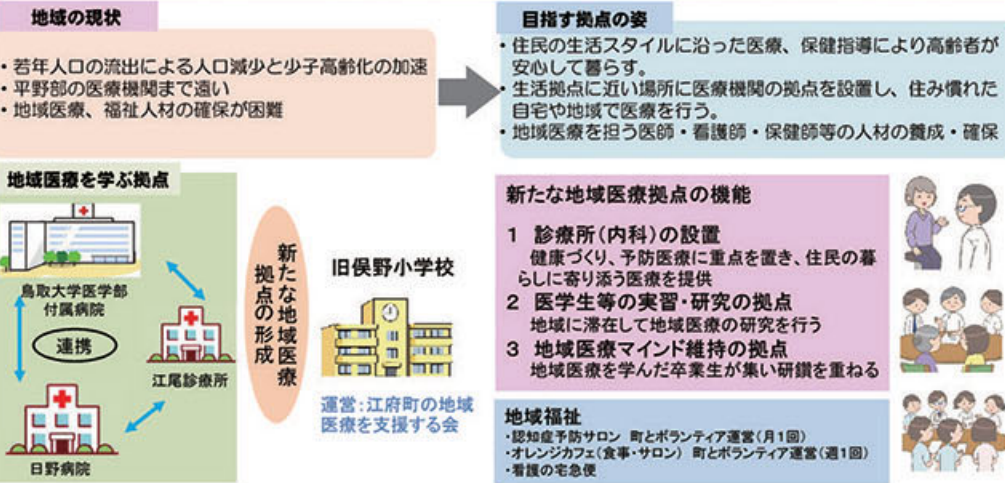
医療機関から離れた地域で生活する住民の方々は、受診する場合、わざわざまちなかまで出かけて行かないといけません。高齢者の方が地域で安心して暮らすために、集落から近い診療所の開設や、地元に着着した医療人材の育成を住民のみなさんが望んでいます。

### ② 江府町侯野地区

江府町侯野地区 取組イメージ

## 医療機関と連携した健康と安心のまち・地域に根ざす人材を育てるまち

### ～高齢者が住む山間地域の医療を守り、未来に繋ぐ地域医療人材育成モデルの構築～



地域住民の生活を把握しながら、保健・医療・福祉・介護と連携を図る地域医療を実現する。  
地域医療マインドを持った総合診療医の育成と維持を図る。

話し合いの進め方やポイントなどに関する相談は、右記の相談先にお問い合わせください

日南町役場 企画課 電話：0859-82-1115  
 日野町役場 企画政策課 電話：0859-72-0332  
 江府町役場 総務課 電話：0859-75-2211